

6年1組 授業実践報告

教科：社会 単元：世界に歩み出した日本

授業のねらい：2つの戦争によって日本と世界の国々との関係はどのように変わっていったのかを考えることができる。

活動の様子：



【グループで話し合う様子】

2つの戦争に勝利した日本は、恐れられる存在になっていったのでは？



【グループで話し合う様子】

日清戦争と日露戦争の違いはどんなところだろう？



【学級全体で話し合う様子】

日露戦争は勝利したけど賠償金はなく、国内からは不満の声があったと思う。

児童の振り返りより：



2つの戦争に勝利したことによって世界に認められ、世界の国々と対等な関係になったことがよく分かった。

グループでの話し合いでは、問い掛けることで相手の考えを引き出し、自分の考えとつなげることができた。



授業を終えて：学習活動を毎回同じ流れにしてきたことで、児童が見通しをもち学習することができるようになった。誰とでも安心して話ができるような関係を築くために日常的に「話し合うこと」を意識してきたことで、授業でのグループの話し合い活動が活発になり、難しいと捉えがちな歴史学習にも前向きに取り組むことができていた。6年生の目指す姿“「考えたい」「伝えたい」「聞きたい」と自らつながっていく児童”に近付いていると思う。